

授業科目(ナンバリング)	観光事業論 (CA201)			担当教員	張 美慶		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<ul style="list-style-type: none"> 観光事業に関する基本的な知識を習得する。 新しい視点で観光ビジネスマーケティングを考察できる。 観光事業を通じて観光商品を企画できる。 							②④⑤⑥
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	観光事業は時代によって発展する。単一観光事業ではなく、複数の産業と連携している観光事業を、経営学的側面の知識を習得し理解することができる。				確認テスト 授業参加度	30 % 10 %	
情報収集、分析力	本講義を通じて従来の観光事業と現代の観光事業の違いを把握し、トレンドを分析することができる。				プレゼンテーション	60 %	
コミュニケーション力						%	
協働・課題解決力						%	
多様性理解力						%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>本講義を通じて習得した観光事業に対する知識、理解力を筆記試験で評価する(評価比率: 確認テスト 30%、授業参加度 10%)。</p> <p>また、地域振興のための観光商品の企画力をチーム別の発表を通じてアイデア提案、チームワーク、コミュニケーション能力を評価する(評価比率 60%)。確認テストや、地域振興のために企画した商品の実現可能性と発表スキルについて、授業の中でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>本講義では既存の交通、宿泊業、旅行会社など観光事業の事例、役割などを学ぶことで全般的な観光事業の流れを把握することができる。次に、現在の観光産業と融合できる思考力と観光経営的側面からの地域観光商品開発を企画してまとめる。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：谷口知司(2010)「観光ビジネス論」、ミネルヴァ書房。</p> <p>参考書：必要に応じて事前に紹介する。</p> <p>指定図書：教科書と同じ</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
多様な観光事業を通じて得た知識をいかして、地域振興の観光商品開発を企画してほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイドンス	観光や観光ビジネスとは何かについて学ぶ。	シラバスの確認 観光事業の種類について 予習
2	旅行業のビジネス	旅行業界と旅行業法など旅行業のビジネスを学ぶ。	旅行業法について復習
3	鉄道会社と観光ビジネス	鉄道会社における観光ビジネスの位置づけ、観光資源としての鉄道について学ぶ。	鉄道会社の観光ビジネスの課題について復習
4	航空産業と観光ビジネス	現代観光における航空の役割、観光ビジネスについて学ぶ。	教科書第3章を読む
5	観光ビジネスとメディア戦略	観光ビジネスとメディア戦略の方向性について学ぶ。	教科書第5章を読む
6	コンベンションと都市政策	コンベンションの都市に与える定量的・定性的効果について学ぶ（事例適用）。	教科書第6章を読む
7	観光ブランド戦略	地域ブランドの意義と必要性などについて学ぶ。	教科書第7章を読む
8	土産品と観光	土産品の起源、土産品のニーズの変容（事例適用）について学ぶ。	教科書第8章を読む
9	持続可能な共生社会を目指す観光ビジネス	ツーリズムと倫理、そして観光教育について学ぶ。	教科書第9章を読む
10	医療観光とビジネス	医療観光の定義、種類と経済的効果について学ぶ（事例適用）。	韓国の医療観光について ネットで調べておくこと
11	韓流ビジネス観光	韓流コンテンツと観光ビジネスについて学ぶ。	韓流コンテンツを取り入れた観光についてネットで調べておくこと
12	観光客行動と意思決定、観光とマーケティング	観光目的を満たす観光客行動の意思決定過程、観光マーケティングの概念と観光商品管理について学ぶ。	事前に観光客行動意思に関する資料を配布する 観光マーケティング事例について調べておくこと
13	観光商品開発企画①	チーム別にテーマを決めて地域観光振興のための観光商品企画を作る（テーマ選定、テーマ選定の背景、選定地域の長所と短所の調査、観光商品企画、企画した観光商品の効果）。①	プレゼンテーションの発表練習
14	観光商品開発企画②	チーム別にテーマを決めて地域観光振興のための観光商品企画を作る（テーマ選定、テーマ選定の背景、選定地域の長所と短所の調査、観光商品企画、企画した観光商品の効果）。②	プレゼンテーションの発表練習
15	観光商品開発発表	企画した観光商品開発発表を行う。	プレゼンテーションの発表